

かわらばん

一般社団法人 岩手県産業廃棄物協会

TEL019-625-2201 FAX019-624-1920

URL : <http://www.iwatesanpai.or.jp>



★★★ 優良産廃業者格付認定

優良な産業廃棄物処理業者（基準適合者）の格付けが決まりました。

今回は、 が4社、 が24社、 が10社、計38社で、うち新規の認定は5社でした。基準適合者は、全体では99社から97社に減りました。今回も大震災の影響やその他の事情で申請を見合わせた方々が多くいらっしゃいました。次回は基準適合者の増加やランクアップを期待しています。



全産連会長表彰受賞

多年にわたる功績が認められ、会員の皆様が全国産業廃棄物連合会会長表彰を受賞されました。誠にありがとうございます。

表彰は、全国産業廃棄物連合会の定時総会に合わせて6月14日（金）に明治記念館で行われました。

今後のさらなるご活躍を期待しております。

地方功労者表彰

水本 林（株式会社水本）様

狩野公俊（株式会社環境保全サービス）様

地方優良事業所表彰

株式会社カネナカ（代表取締役 山崎巍）様



青年部会総会開催

6月21日（金）に青年部会第14回通常総会が盛岡市で開催されました。今回は改選期ではありませんでしたが、新沼学運営委員と中村之浩監事が退任し、眞下拓身運営委員（いわて県北クリーン株）と南部智成監事（奥州循環システム株）が新たに就任しました。



エコスタッフセミナー

県の「いわて地球環境にやさしい事業所」認定のために必要な「エコスタッフ養成セミナー」が開催されます。申込書の様式は、岩手県のホームページにあります。

奥州会場 7月19日（金）奥州市岩谷堂地区センター

釜石会場 9月19日（木）釜石地区合同庁舎

二戸会場 11月7日（木）二戸地区合同庁舎

盛岡会場 1月29日（月）盛岡地区合同庁舎

化学物質移動排出量

平成23年度の化学物質排出把握管理促進法（PRT法）に基づく届出の全国集計が公表されています。

届出の対象となるのは462種類の化学物質で、岩手県では513事業所からの排出量が約2,843トン、移動量が約962トン、計3,805トンでした。

多い順に並べるとジクロロメタン、キシレン、トルエンになり、この3物質で全体の7割を占めます。



できることからエコアクション

温暖化防止いわて県民会議では、電力危機となる7～9月に節電等の取組みを行うこととしました。取り組んだ内容は10月11日（金）までに協会事務局に報告してください。実施した項目にチェックを入れるなどの簡単なものです。当協会は同県民会議の構成団体になっていて、環境産業を担っている会員の皆様には積極的に取り組んでいただきたいと思います。

詳細は別途ご案内いたしますのでご覧ください。



水質環境基準追加

水生生物保全環境基準には「亜鉛」及び「ノニルフェノール」の2項目が定められていますが、3月27日から新たに洗濯用洗剤などに使用されている「直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩」が追加されています。

その基準値は、水域や類型で異なりますが、河川及び湖沼の生物A類型（イワナ、サケマス等比較的低温域を好む水生生物などが生息する水域）で0.03mg/リットル以下などとされました。

水生生物保全環境基準は、従来の「人の健康の保護」や「生活環境の保全」の観点から設定された水質環境基準とは別に、「健全な生態系の維持・再生」、「良好な水環境の保全」のためには水生生物への影響も考慮することが必要であると考えられるようになり、2003年から「水生生物の保全に係る水質環境基準」が設定され、対象物質が順次追加されてきています。

なお、これらの3物質は、特定有害産業廃棄物（特別管理産業廃棄物）の対象物質にはなりません。



地域協議会の代表に

全国産業廃棄物連合会北海道・東北地域協議会が6月6日に盛岡市で開催されました。これまでは山形県産業廃棄物協会の伊藤会長が代表を務めていましたが、今回、当協会の門脇会長が代表に選ばれました。任期は2年です。今回は岩手県庁資源循環推進課の大泉総括課長さん、田村廃棄物対策担当課長さんに来ていただき、「岩手県の産業廃棄物適正処理等の制度概要と今後の展望」と題して課題や今後の方向性について詳しく解説していただきました。行政のご担当に来ていただいたのは今回が初めてでした。



災害廃棄物処理詳細計画改定

5月21日に第5回岩手県災害廃棄物処理対策協議会が開催され、災害廃棄物処理の進捗状況、災害廃棄物処理詳細計画の改定等について説明がありました。

詳細計画の概要

525万トンはず変わらず。25年度末に処理完了。

- ・不燃系が減少し津波堆積物が増加
- ・柱材角材が経年劣化により減少
- ・コンクリートがら住宅基礎分増加
- ・金属、漁網等が精査により減少

H24年度末災害廃棄物処理実績 49% (78)

H24年度末津波堆積土 15% (56)

H25年9月末目標



各委員会・委員決定!

6月18日(火)の理事会で次のとおり当協会内の各委員会の委員が決定しました。(敬称略)

総務委員会 中道法子、今野秀實、濱田博、新沼学

研修委員会 関根信、志田吉彦、及川桂子、菅原能興

安全衛生委員会 藤原正基、中村之浩、千葉智英、
吉田義光

災害復興特別委員会 門脇生男、志田吉彦、及川桂子、
兼田忠康、中村之浩

(なお、委員の任期は2年です。)



事務局便り

【会員の方へお願い】

会員事項に変更があった場合は、「変更届」の提出をお願いします。様式は、協会ホームページ(会員の方へ)からダウンロードできます。

編集後記

いよいよ本格的な夏を迎え、これから講習会、研修会など事業展開を目指します。皆様にタイムリーな情報を提供できるように頑張ります。